

令和7年度 第2回太田市公共工事入札等監視委員会 委員コメント

○大谷委員長

今回は、令和7年度の「上半期の入札・契約状況の報告並びに入札契約の内容（2件）」についての審査を行い、適正であると思いました。

入札・契約状況並びに入札契約の内容審査やくじ引きに関する説明に対する質疑への回答、解説がしっかりできていると感じました。

また、内容審査1太田市新田文化会館総合体育館電灯工事と内容審査2、2級62号線道路新設工事についても分かりやすく、解説していただきました。太田市への経済効果も大きなものがあり、多くの参加社を得て、公平性と競争性を確保しながら、適切な入札業務を推進していただきたいと思います。

会議後は、「クリーンプラザ・リサイクルプラザ設備」並びに「ストックヤード」を視察させていただきました。太田地区広域の重要拠点が、今後ますます活性化していくための重要な施設だと感じました。

○大島副委員長

今回の委員会は、太田市細谷町にあるクリーンプラザの会議室において、令和7年度上半期の入札・契約状況についての報告を受けました。令和7年度より少額競争入札について、設計金額が工事200万円以下、建設関連業務委託100万円以下と対象案件が変更になったこと、また、規模の大きな入札案件がなかったことから、令和7年度上半期競争入札の契約件数、請負金額ともに、令和6年度上半期に比べて減少した旨の説明を受けました。

続いて、条件付一般競争入札となった太田市新田文化会館・総合体育館 電灯改修工事、そして2級62号線道路新設（第1期）工事における契約の経緯を事細かに説明いただき、内容を審査しました。

委員会終了後には、ストックヤード、クリーンプラザとリサイクルプラザの現地視察を致しました。それぞれの施設の詳細な説明を受け、この地域における環境保全、資源の有効利用を図る上でなくてはならない非常に有用な施設であることを実感しました。このように住民にとって意義のある公共工事が、公正公平で透明性が確保された入札を経て今後も展開されていくよう、厳しい目で確認をしていきたいと思っています。

○中村委員

令和7年度上半期の入札・契約状況について説明を受け、2つの入札案件について内容を審査いたしました。建設から30年が経過した太田市新田文化会館・総合体育館では、蛍光灯の製造中止に伴うLED化が計画されましたが度々入札不調。しかし再発注に向けて工事の分割など条件を変更し、無事に落札となりました。災害時の避難所としての機能を持つ施設ですので、今回のように条件や工事内容を工夫しながら円滑に公平公正な入札が行われて良かったと思います。

会議の後には、クリーンプラザの施設を見学させていただきました。今回の会議資料は、施設内で再

生された用紙に印刷されたもの。粋な計らいに気分が高揚し、再生紙を実際に使うところまで体感できる貴重な機会となりました。改めて、24時間 休まずに稼働する施設を管理する職員の皆様に感謝いたします。クリーンプラザで発電された電力が市内の学校で使われていることを知り、この素晴らしい循環をもっと多くの方に知ってもらいたいと思いました。

○松本委員

(1)令和7年度上半期入札・契約状況

①令和7年度上半期入札・契約状況の審査を行いました。

入札契約状況については、通常型一般競争入札・小規模型一般競争入札・指名競争入札・随意契約について前年度同様に適正に行われておりました。全体の前年度比96.66%の契約件数で、概ね順調な契約件数であったと思います。若干の減少は、少額入札方式が200万円（旧：130万円）以下、建設関連業務委託100万円（旧：50万円）以下を対象とすることになり、影響があったと思います。

②くじ引きの状況についても、71.6%でしたので、くじ引きで決まる件数が増えたと判断しました。くじ引きにつきましては、適正に行われていると思います。

(2)令和7年度上半期入札契約の内容審査について

①太田市文化会館・総合体育館 電灯改修工事

三回開札が行われましたが、機器のミスマッチや入札条件の緩和等が行われ多くの市内業者が入札に参加できたことは参加機会が増えてよかった。後は、自助努力次第でしょうか。

②2級62号線道路新設（第1期）工事

適正な入札が行われ落札されたと判断しました。

③本日は、リサイクルセンターにおいての会議及び内覧をしました。同センターの焼却炉・再生資源に関する施設は発電機能はじめとする多機能を有する施設で太田、大泉30万人の人口をカバーする最新鋭の機能を有しておりました。しかし、重要なことは、市民のごみ・資源に対する意識がとても重要であると感じました。家庭ごみでもできる限り資源とごみの選別をすることは当然としても、センター内では、それ以上の高度な選別を手作業で行っておりますので、家庭でも今まで以上の意識の高さが必要であると認識しました。

※湯澤委員は会議欠席のため、コメントはありません。